(1) No. 1.344

NOTICIAS DE S. PAULO
(Primeiro Diario Nipponico publicado no Brasil)

3a. Feira, 9 de Novembro de 1937

新報

sr. M. Kobayashi 小林

聖市アヴェンブレア 十六番地
郵函 [illegible]
發行所 聖州新報社
發行人 香山 六郎
購讀料 一年[illegible]ミル [illegible]ミル

獨協定に伊も參加
コミンテルン防壁陣更に强化す
六日、ローマで歴史的調印

（ローマ六日）一九三六年十一月二十五日締結せられた日獨防共協定に對する伊國の參加は從來一般に豫測せられ、その實現は時日の問題と觀られてゐたが遂に三國間に條約締結の運びとなり六日午前十一時ローマ、チヂ宮に於て日本堀田駐伊大使、獨逸リツベン・トロツプ特使、伊國チアノ外相の三全權が調印を了し、茲に共産インターナショナルに對する防壁は愈々その威力を發揮することゝなつた、尚一部ではブラジルその他南米數ケ國に對しても追つて右協定への參加が慫慂せらるゝであらうと觀て居り、注目されてゐる

帝都では祝賀大提燈行列

（東京六日）歴史的な日獨伊防共協定の調印を無事終つた外務省では六日夜、外相官邸に於てアウリツチ・イタリイ、デイリクゼン・ドイツ兩大使を中心に祝賀晩餐會を開催、一同此の紀念すべき日を壽ぎ乾杯した、この折柄大使館におなじみ深い麹町、芝兩區の青年團、國防婦人會、愛國學生聯盟の學生等約二千五百名が細雨を衝いて出動、提灯を振りながら日獨伊萬歳を叫んで祝賀晩餐會たけなはの外相官邸に殺到すれば、廣田外相、アウリツチ、デイリクゼン兩大使等は夫々提灯を打振つてこれに應へ萬歳の聲はローマ、ベルリンにもとゞけよと叫ばれた

（東京七日）日獨伊防共協定成立を祝する帝都市民の大提灯行列は六日夜に續き七日夜も獨伊兩國大使館附近を中心に盛大に擧行された

"止むを得ぬ成行"
英國は比較的冷靜

（ロンドン六日）福岡同盟特派員發、日獨伊三國防共協定調印のニユースはロンドンタ刊各紙に大々的に取扱はれてゐるが既に豫想されたところではあり寧ろ自然の現象として比較的冷靜に迎へられてゐる、英國政府官邊でも主義としては依然お定まりのイデオロギイ的な結合に反對の態度を執つてゐるが蘇支不可侵條約後の情勢上止むを得ぬところとしてあきらめてゐる形である、一般に新協定は極東に於ける日本、歐洲に於ける獨伊の地位を强化するものであることは充分認められてをりそれだけに英國としては喜ばぬところで相當痛いところを抑へられた感がある、英國の識者間には佛蘇相互援助條約が先づ今日の情勢を誘致したものでこれを默認した英國にも大いに責任があるとし英國外交の失敗を攻擊する向きが少くない

報知新聞報道
"對支宣戰布告論 海軍部内に有力"

（東京五日）報知新聞の報道するところによれば海軍は急速に大本營を設け支那に對し宣戰布告すべしとの意見に贊成したといはれる、朝日新聞の觀測によれば大本營設立は來る十日頃となる模樣である、尚報知紙は陸軍は貿易阻害、國際紛糾を懸念し宣戰には反對意向であると傳へてゐる

（東京五日）報知新聞の報道によれば此際支那に對し宣戰布告すべしとの說が政府部内に漸次有力化しつゝある模樣である、中でも最も此說を唱道するものは海軍方面であるといはれる、これに反して陸軍方面では外國貿易への障害特に武器軍需品輸入に對する困難性を豫想して宣戰には反對の意向が多數を占めてゐるといはれる

藤井部隊勇戰

（上海七日）藤井部隊は昨日に引續き今朝來クツカキヨーの主要陣地に猛擊を加へ午前十時遂に之を占據した

米國への反響
"世界の不安は激化される一方"

（華府六日）日獨伊三國防共協定成立の報に米國務省當局は未だ協定成文を見てゐないとの理由で批評を避けてゐるが三國協定の成立で世界の不安は緩和されるより寧ろ激化される方だらうとの意向を洩らし更に當面の問題としては民主々義國家に對するファッショ國家の團結々成は日本の態度を硬化せしめ九國條約會議を益々困難ならしめるだらうと觀てゐる、尚一部では南米の二、三主要國もやがて之に參加するのではないかと云つてゐる

獨伊を結ぶ最初の成文協定
◆……佛國朝野の衝動大

（パリ八日）日獨伊三國防共協定の成立はフランス政界に多大の衝動を與へ同協定を契機とする歐洲政局の新展開につき種々悲觀的觀測が行はれてゐる、エコ・ド・パリー紙外報部長ペルチナツクス氏は新協定に對するフランス官邊の意向として左の如く報道してゐる

新協定により獨伊兩國は既にスペインで行つてゐる樣に今後は愈々自己目的を達成するために恐らく他國の内政干渉に乘り出すであらう、此場合先づ考へられることはダニユーブ諸國並びにボーランドに對する汎ゲルマン政策の强化である、これらの國に於ては今や勞動者、農民大衆は現政權に非常な不滿を抱いてゐるからドイツのつけ込む隙があるわけである、新協定は日本が支那から蘇聯の勢力を驅逐するべき助けとなるのは勿論だが新協定の最重要性は獨伊兩國を結ぶ最初の成文協定たる點にある

中國共産黨
國民黨に四大提議
あはよくば政權乘取の肚

（上海六日）中國共産黨では戰線の色濃くなるや俄然同黨中央委員會が本月二日重ねて國民黨に對し現下の民族的社會的重大危機を脱却して窮極の勝利を保證するために全民族統一戰線を名實共に確立し偉大なる闘争力を發揮して歴史的任務を遂行すべきであると前提して民衆運動の喚起、共同闘争綱領の宣言文、政府の改造、國民黨改革の四綱目に亘り重大提言をなした

（上海六日）中國共産黨の四大提議は全民族統一戰線の名の下に民衆運動の喚起と共同綱領公布によつて廣汎なる社會層に對する抗日運動のヘゲモニーを握ると共に政府の改造による共産分子の中樞機關への割込み、北伐當時の黨軍兩制度の復活に伴ふ宣傳政治工作による軍隊内部の赤化等により國民黨政權をあくまで長期抗戰に引づり先づ此の政權の衰弱するを待つてあはよくばとつて代らんとするその鋒先を現はしたものとして各方面へ多大の衝動を與へてゐるが、毛澤東は更に黨機關紙「解放」に於て「國共兩黨統一戰線成立後に於ける中國革命の切迫せる任務」と題して四大提議の主旨を敷衍せる長論文を揭げて國民黨の時代精神と自己批判を指摘して民衆運動の統制彈壓を非難し更に十年來舊態依然たる國民黨政權の政府機構、軍隊制度、民衆政策、財政經濟、教育を大膽に批判を試みた後蔣介石に對して共産黨側の四項提言は切迫せる客觀情勢に適合するものなれば即時之を實行に移さんことを强硬に要求してゐる

浦東方面敵軍全く混乱狀態
各所で掠奪を働く

（東京七日）七日夜海軍省に達した情報に依れば上海附近の狀況次の如くである

五日未明我陸軍の大部隊は海軍の有効適切なる掩護の下に折柄の惡天候を冒し杭州灣北方地區に果敢なる敵前上陸を敢行し直ちに敵の要點を占領し息つく暇もなく敵を猛追、怒濤の如く一氣に北上、上海西南方に進擊してゐる▲、我飛行機の偵察に依れば浦東方面の敵は右往左往し全く混亂狀態に落入れるものゝ如く、尚蘇州河南方地區よりの消息に依れば同方面の支那軍は昨日來、虹橋路方面支那人家屋は勿論、外人住宅、教會等の見境ひなく盛んに掠奪し居る模樣、之にも拘らず支那側は杭州灣に上陸せる日本軍は小部隊に過ぎざるを以つて之を包圍中と放送し支那軍動搖防止に大童となつてゐる▲、古來支那に於いては戰爭と掠奪とは附き物にして支那軍は退却前には必ず掠奪する、支那軍が既に掠奪開始せるより見て上海附近支那軍は近く全面的に潰走するものと觀測される

前英皇帝の渡米一時取止
米國内に異論あり

（東京ラヂオ六日）米國勞働團體訪問のため、近く渡米視察旅行の豫定であつた前英國皇帝陛下ウインザ公夫妻は、米國朝野の一部に同夫妻の渡米に反對を唱へるものあり一時旅行取止めの旨今日發表せられた、ウインザー公は往訪の記者に對して

予の渡米は米國の勞働團體後援の爲でもなく、又政治經濟何れの方面にも全然關係のない單なる視察の目的であつたが、色々誤解と誤報がつたへられてゐる樣子なので一時中止することにした

尚米國勞働團體では大々的に歡迎準備をいそいでゐた矢先で取止めの報にすつかり落膽してゐる

機械化兵器協會創立

（東京七日）機械化部隊の充實に邁進してゐる陸軍は六日軍令を以て陸軍大學校令を改正して陸軍大學校内に航空兵科の最高教育部門を新設したことは既報の如くであるが之に呼應して今回國軍機械科部隊擴充の一大推進力たらしめんが爲め軍民協力のもとに機械化兵器協會を創立し交詢社で創立會開催の運びとなつた、委員長は鈴木孝雄大將委員土岐章氏、磯村豐太郎氏、比佐陸軍參與官等十數名である、同協會は近代戰に必要なる新兵器殊に機械化兵器の普及を圖り學校教育、社會教育を通じ現代戰に必須なる精神的、科學的並に技術的素養の向上を促進し國防上必要なる軍需飛躍的發展に協力し以てその目的達成を期する

ヒ總統乘出說を外務省否認

（東京六日）日支事變の調停にヒツトラー總統が乘出すとの風說が唱へられてゐるに鑑み外務省では六日午後、左の情報部長談を發表した

最近ヒツトラー總統が支那事變に對し日支間の調停に立つといふ風說があるが今日の事態に於てかゝることは全く不可能であることはいふまでもないことで恐らく何等かの爲にするデマと信ぜられる

數百の小艇に分乘 敵前上陸
早くも黄浦江南岸に進出
大上海の完全なる包圍近し

（上海六日）五日未明、杭州灣北岸金山衛東西數里にわたる地區に於て我軍は敵の不意に乘じて猛烈なる敵前上陸を敢行したが此日〇〇部隊は金山衛東二里に運送船をかつて枚をふくんで金山衛の沖合に到着した、此時〇〇艦隊の猛烈な掩護砲擊が開始された、我兵は數百の小艇に分乘、一齊に上陸を開始し沿岸の陣地に據る敵は猛烈に抵抗、これを阻止せんとしたが新鋭上陸部隊は果敢な突擊により忽ちにしてこれを擊破こゝに敵前上陸の武勳を輝やかせた、我部隊は直ちに北方及び西方に向け進擊に移り所在の敵を蹴散らしつゝ六日早朝には早くも黄浦江南岸の線に到着した、これにより南市方面及び蘇州河南岸の殘敵は背後に大脅威を受けることゝなつた

（上海六日）我軍は蘇州河渡河以來引續き南岸の建物屋上の土嚢或は煉瓦塀等に據つて猛射を浴せる敵に猛攻擊を加へ敵の主要據點を續々占據しつゝあるが石井部隊は四日夜、激戰の後、郁家宅を確保敵三百を倒し手榴彈一万個、土嚢三万袋、チエコ機關銃三挺、スイス式機關銃一挺を鹵獲した、一方田上部隊の一部も六日、薛家莊に突擊し其一部を占據して敵六百を倒した▲藤井部隊は六日午後、蘇州河第一の要地たる屈家橋の敵陣に攻擊開始、激戰の後、四時頃遂に前進陣地を突破、續いて屈家橋の主陣地一角を奪取した▲我優秀なる戰果擴張によりノートンの支那軍は非常な動搖を來たし其一部は六日午後三時頃より退却を開始した模樣である▲金山衛西部地帶に上陸せる〇〇部隊は上陸の際折柄の滿潮のため一部隊は胸迄も水につかつて勇戰奮闘西方及び西北方よりする優勢なる敵の抵抗を排除し海軍艦砲の緊密適切なる協力により逐次戰果を西方に擴張しつゝあり

（上海七日）我上陸新鋭部隊の松江進擊とコ西戰線に於ける支那軍に敗色濃厚となるや上海在住の支那人は極度の不安に襲はれ人心の動搖顯著なるものがあるが就中、英佛兩租界を利用して公然市民の抗日熱を煽つてゐた共産黨、人民戰線、藍衣社系有力分子は日本軍による大上海の完全なる包圍は最早時機の問題と見てまご〱してゐれば袋の鼠同樣全く逃場を失ふのみならず我包圍軍の壓力で此種抗日運動に對する租界當局從來の放任方針に變化を來たして彈壓取締り的態度に出ずるやも知れずと藍衣社、共産黨の秘密機關さては人民戰線派の宣傳機關等早くも奥地に向け移轉を開始し有力分子も續々逃亡中で我軍包圍態形の進むにつれ抗日本部の感あつた上海市内も著るしく明朗化するものと期待される

▲七日午後三時田上部隊はリンコルン路を突破龍家宅を占據、石井部隊は郁家宅南方無名部落を占據更に龔家鎭の敵陣地一部を占據した▲陸軍部隊の杭州灣北岸上陸を掩護、第〇艦隊の精鋭は更に驀進を續ける陸軍部隊に協力、七日朝來、杭州灣海上より秋雨を冒して殷々たる砲聲を轟かせつゝ我に抵抗する敵に向つて猛烈に巨彈を浴せてゐる

（上海八日）蘇州河南岸の敵は我渡河部隊の猛攻擊に堪へかね動搖の色濃厚なるもがあつたが八日午前九時空中よりの偵察によれば遂に退却の止むなきに到り八日朝以來西方に向け續々後退を開始した▲新鋭上陸部隊の快速部隊は午前十一時、閔行の對岸に到着した▲同文書院は七日午後七時十分、三度怪火に見舞はれ共同租界、佛租界消防隊馳せつけ防火に當つたが火勢猛烈で深更に至るも火勢衰へず今朝に至り漸く鎭火した右は支那兵の執拗な放火によるもので今曉の火災を以つて數十年の歷史に傳統を誇つた校舍も貴重なる文献も灰燼に歸した

（旗艦〇〇にて七日發）五日杭州灣北岸の敵前上陸と引續き行はれた進擊に於ける戰闘で我方の損害は問題にならぬ程輕微であつたが敵の死傷は莫大な數に達し遺棄屍体のみでも七百に達した、尚我軍は同日、敵の砲十門をはじめ機關銃、彈藥多數を鹵獲した

大阪商船
着發廣告
昭和十二年

日本へ	北米經由	りお丸	サントス發 十一月廿一日	横濱着 一月六日
	アフリカ經由	まにら丸	サントス發 十二月三日	神戸着 一月二九日 後航ペルナンブコ臨時寄港ス
日本より	ケープタウンより	まにら丸	神戸發 九月廿六日	サントス着 十一月二日
		もんてびでお丸	神戸發 十月九日	サントス着 十一月廿一日

詳細は弊社又は下記代理店
聖市 THEODOR WILLE & CO. LTD. LARGO DO OUVIDOR, 2
リオ WILSON SONS & CO. LTD. AV. RIO BRANCO, 37
右代理店の外御歸國手續の御世話乘船切符購入等は指定仲次旅館が無料御取扱致します
サントス伯國大阪商船會社
(Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda.)
Rua Cidade de Toledo. 31 SANTOS

大阪商船會社指定切符取次旅館組合

サンパウロ市
旭旅館 アラメーダ、クレベランド一五五番 電話 五一三二八〇番
末廣旅館 コンデ・ド・ピニヤール街一八四番 電話 二一五六三八番
常盤旅館 コンセレイロ・フルタード街一一一番 電話 二一三六九〇番
東京館 マウア街二九一番

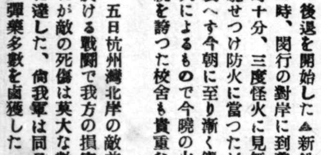
母國行便船
北米經由 まにら丸 サントス發 十二月三日
南阿經由 りお丸 サントス十一月廿一日
御歸國の御方は上記の内何れかへ御申込み願ます出國手續切符購入母國送金再渡航證明其の他乘船に必要なる諸手續き一切無料にて御世話いたします

サントス市
平和館 プラサ・ジョゼ・ボニファシオ街五一番
三笠旅館 ブラス・クーバス街二六四一二六六番 電話二九五八番
成功館 セナドール・フェイジョ・三二二番 電話五二五五番
潮旅館 ブラス、クーバス街二三九番 電話五一八一番

齒科 岡山
診察時間 自午前八時 至午後九時
聖市コンデ・ド・ピニヤール街一三五
電話 二一六〇七三

日伯シネマ社
松竹、日活、新興映畫輸入元
郵函 三八二七
電話 二一三六五七

第一映寫班 レヂストロ 主任 小西外記
第二映寫班 ノロエステ 主任 野村北秋
第三映寫班 ソロカバナ 主任 高松健兒
第四映寫班 パウリスタ 主任 愛川ひさし
第五映寫班 パウリスタ 主任 原天浪
第六映寫班 アララクワラ 主任 森城茨
第七映寫班 聖市近郊 主任 能村隼人



體裁優美
價格低廉
耐久堅牢
速力の点に申分のない

新古兩車共澤山有ります。月賦排特に好條件にて御便宜を計ります

AGENCIA Ford

フオード代理店
飯田商店
プロミツソン驛 郵函三五

太原城を完全に包圍

武士の情 殘敵に投降を勸告

我軍平和的接收に盡力す

（石家庄六日）六日午前九時二十分、我小堀騎兵部隊が太原城北門を占領するや潮の如く南下した步兵、戰車の各部隊は太原城周圍の要害を次々に占領、正太線方面から西進して太原南方に進出した友軍部隊と協力、午前十一時頃には殆んど完全に太原城を包圍した爲、さしも頑强に抵抗し續けた城內の敵も全く戰意を喪失、袋の鼠となつた、この敵のあはれむべき姿を見た我○○部隊長はこれ以上の攻擊は我武士道として忍びざるところとして手も足も出なくなつた城內の敵に軍使を派遣、投降を勸告、太原城の平和的接收に全力を盡してゐる

（太原城外七日）我山西攻略部隊の大場、相原兩部隊は七日午前五時、太原城の北門正面に迫り西門正面には堤後藤、板倉各部隊、更に東門には萱島部隊が進出し山西の首都太原城はこゝに完全に包圍せられた、我部隊は六日午後六時頃城內の敵に對し投降勸告文約五千枚を飛行機上より撒布したが太原城內外は和平か攻擊か時機の切迫につれて息づまる樣な光景を呈してゐる

（太原城外七日發）降服勸告に對し太原城內よりはまだ應答なく同城を包圍した我軍寂として嵐の前の靜けさの如く沈默を續けてゐる 燦然と朝日を受けて輝く太原城の瓦は我砲口を向けられた儘無氣味なる靜けさを續けてゐる 然し如何にもがいても太原城陷落の時刻は迫つてゐる▲我軍の包圍に依り既に手中に歸したも同然な太原城內の住民の大部分は南門より續々と避難し支那共產軍のみが斷末魔の足掻きに小癪な抵抗を行つてゐるこれ等共產軍の退却の跡には國共合作万歲と云ふやうな住民赤化を煽動した共產黨のアヂビラが處々方々に貼り付けられ住民に對せる共產謳歌の猛烈な働きかけが窺はれ支那軍の赤化振りを如實に暴露してゐる

（石家庄七日）正太線方面より疾風の如く進擊、太原の南方に迂廻して敵の退路を遮斷した我○○部隊は五日早朝、楡次方面より太原に向つて北進中の敵十一、二十七、百二十三、百二十七の四個師の大軍と遭遇、鳴謙鎭南方に於て激烈な戰鬪を交へた、即ち小林、鯉登兩部隊は鳴謙鎭、鳴李村を中心とする附近一帶にあつて必死となつて太原進入を企てる右敵部隊に徹底的猛擊を加へた、此猛襲にあつた敵は屍体二千を遺棄して殆んど潰滅した

（○○基地六日）太原の死命を完全に制した我地上部隊の進擊に呼應して我飛行部隊は六日午前、太原を後に同蒲線上、平遙、介休間を七個列車に滿載されて潰走する敵に對し完膚なき迄に爆擊を加へ更に西南方靈石附近に集結する敵大部隊に投彈、これを粉碎した

（天津七日）軍司令部發表に依れば太原城包圍中の我軍は東北西三方面より攻擊中、又長谷川部隊は太原城西側を迂回して南下、七日午前十時南太原を占領した

（淸城鎭七日）○○隊午後五時發表 太原城外の敵は目下陣地を構築熾んに挑戰態度を示してゐるが我方は本日正午第三國人及び非戰鬪員は八日午前七時迄に南門より退據す可し殘在者は戰鬪員と見做す旨のビラを太原城內に撒布した

小癪降服勸告に應ぜず

止むなく攻擊の火蓋を切る

隨所に物凄い市街戰

（太原城外にて八日）太原城を三方より包圍中であつた我軍は城內の敵に對し降伏勸告を行つたが敵は之に應ぜざる爲め遂に斷乎空陸呼應の攻城戰を開始し砲聲殷々として天地を搖がし太原城の一角は黑煙に蓋はれてゐる

（天津八日）午前七時頃太原城の三方を包圍せる我軍は太原城に一齊に攻擊の火蓋を切り萱島部隊は八日午前九時十三分太原城東正面の城壁を占領し日章旗を掲げた、次で同部隊は北側城壁を占領した▲地上部隊の猛攻擊に呼應して我飛行部隊は八日銀翼を連ねて大擧太原上空に飛來午前九時半一齊に太原城に集中爆擊を開始した

（太原城外八日）太原城東側及北側城壁の一角を占領した萱島、大場兩部隊は潮の如く城內に雪崩れ込み隨所に市街戰を展開し猛烈なる殘敵掃蕩を開始した▲八日早朝○○基地を出發した○○機は同七時太原上空に現れ地上部隊に呼應して望樓及び各城門各兵舍その他軍事施設に對し猛烈な空爆を敢行中

明朗北支實現に拍車

支那赤化工作に一大壓迫

（天津八日）太原城遂に陷落し先鋒南方部隊は既にフン陽に迫つて山西制覇の大業はこゝに全くなつた、閻錫山が多年モンロー主義を標榜して拮据經營せる山西は最近全く赤魔の跳梁するところとなり山西よりする河北、チヤハルへの赤化の脅威は我日滿兩國の重大關心事となつてゐたが皇軍の山西制覇の大業は今や河北各所の治安を泰山の安きに置き明朗北支實現に拍車をかけたものである、一方新疆、西安を經てド關に通ずる赤色コミンテルン・ルートを遮斷して全支赤化の工作に壓迫を加へたものである、西安は全支を攪亂する赤軍の金城湯地とする地盤であるが其正面に與へる脅威も至大なるものがあると注目される

ハイチ ドミニカ 國交危機

（ニユーヨーク六日）西インド諸島ドミニカ共和國西北隅ダイハホン附近に於て十月初旬、婦女子を含む數千名のハイチ勞働者、農民がドミニカ土民のため虐殺され屍体は鱶の群がる海中に投ぜられたといふ前代未聞の大慘事がUP通信社によつて報ぜられ全米に大センセーションを卷き起してゐる、虐殺の原因は最近ハイチ國が人口過剩となつた結果、ハイチの農民大衆が續々ドミニカ領に入り込んだ爲ドミニカ土民が生活權の脅威であると憤慨、此鬱憤が爆發した爲といはれるがこれが爲ハイチとドミニカの關係は重大危機に陷つてゐる

慘たり空爆下の南京

政府重要機關は跡方もなく破壞

人口は三分の一に激減

（上海七日）我空襲下にある南京の適確な情報は全く不明であつたが盧山より南京經由來コせる某外國人の視察團に依つて南京の現狀が左の如く明白となつた

上海事變發生來數十回に亙る我空軍の猛襲で南京城內外及び句容の飛行場は勿論、中央軍官學校、軍事委員會軍政部の三機關の建物は完膚なきまでに破壞されてゐるが更に中央無線台、放送局、發電所、水道會社等の蒙つた損害も甚大で各城門の中では南門の被害が最も大きい、事變前百十餘万に上つた南京の人口は今や四十万を余すに過ぎず軍事外交關係を除き政府機關の中には外形のみを殘して其一部又は主要部分を南昌方面に臨時移轉させたもの〻如く蔣介石直屬の中央政治學校の如きも教育長丁惟汾引率の下に盧山で開校されてゐる南京には幹部だけ止めてゐる市內商店の如きは戶を開けてゐるが商賣は全くあがつたりで街は淋れきり今や南京は一つの空場と化し去つた感がある、在住市民は我方の空襲に對する恐怖の余り全市到る處に地下室を設けてゐる、而して各地下室は實費で設備されてゐる他公衆の避難者も相當の數に昇つてゐる、中山路に沿つて市內より下關に出る城門內側の舊壕を利用して造つた地下室が最も完備して居り軍最高指揮機關も此處にあつて南北戰線に號令してゐるといはれる

鹽酸硫酸壜の投げ合ひ

猛烈な化學戰

我好投に支那兵逃げ出す

（上海六日）石井部隊の郁家宅占據に際し化學工場に依る敵に對し村上隊長以下は工場內の敵と塩酸、流酸の壜を投げ合ひ物凄い乱鬪を演じ遂に敵兵を殲滅し偉功を樹てた

（上海六日）松井工兵隊の一隊は砲兵の進擊を援けるため壁に爆藥を裝塡し轟然一發、一擧に三尺四方の穴を穿つたが途端に敵の機銃は矢にはに火を吐くではないか、何を小癪なりとばかりに塩酸壜を片手に我兵が穴に向つて投げ込めば壜は機銃に當つて四散し敵は脆くも沈默して了つた、それとばかり隊長を先頭に一齊に突入すれば其處は硫酸工場で玆に彼我入亂れての猛烈な塩酸と硫酸壜の投合戰が展開されたが敵は我軍の好投に散々火傷を負ひ這々の態で逃げ出したので機を逸せず外に廻つて長田隊の一隊が逃げる敵兵一兵殘さず打殺して了つた

「日本の對支經濟進出は制限なく認める」

九ヶ國會議 米代表が受けた訓令

（ニユーヨーク七日）萩原同盟特派員發、ブラツセル會議に於ける米代表の態度は今後の發展に重要關係あるものとして內外の注目を惹いてゐるが七日、記者が國務省關係の某有力外交評論家より聞知するところによれば米代表ノーマン・デビスが出發に當り受けた訓令の基礎には左記の諸點が含まれてゐると解される

一、日本の支那に對する經濟的進出は制限なくこれを認める

二、滿洲國を少くとも默認し其存立を妨害する如き一切の行爲を中止する

三、速かに和平を齎し大使館守備兵を除き日本軍の完全撤收を期待する

四、右三項の撤底を期し衝突再發を防止するため國際委員會を常設する

尙第四項の具體的內容はまだ確定してをらずブラツセル會議の成行きを待つて打合せを行ひ決定する意向といはれる

電渦

▲今日午后一時半聖市ルス驛を發つて市毛總領事がサントス港へと降る。何時又遇ふやら遇はぬやらの人である

▲あの丈の高い痩せぎすの、苦味走つた白眼の神經質な、フオルモン不足で顏色の惡く恐ろしく理窟ポイ市毛總領事の不愛嬌面が、毎日おなじみの總領事館から消える事は何んだか矢張淋しい

▲市毛總領事を館員の誰れも彼れもが、最初好きでなかつたが終には嫌いではなかつた樣であつた。在留民大衆は何うでもよかつたのであらふ

▲だが聖市に總領事館創まつて以來の總領事七代中、市毛總領事程、伯國の自然と百姓道に精進した總領事は他にないのだ。俳句に精進して伯國の季節を詳にし、棉に精進して今日の棉花輸出を旺んならしめたのも彼であつた

▲考古學研究會を起し貝塚を發掘させて、伯國先住民族の模樣を一部邦人の頭に刻したのも彼市毛であつた

▲伯國廿一州中彼市毛の足跡の到らぬ處はアクレ丈けだつたそうな

▲最后の旅行に北パラナへ行きシツポー・ダ・アグアを探し出して切て水をのみ、アラポンガ鳥を森に見たと非常に愉快がつて居た

▲彼は聖市總領事として、唯人事には、公私とも失敗の痕が痛むと噂されるが、それだのに、それだのに、だ憎くめない男であつた「邪我蘭陀花紫の別れ哉」一路平安を祈る

未曾有の出來ばへ＝絕對歡迎＝大讃辭

見よ 在伯同胞活動實況 大アルバムの出現を!!

本寫眞帖は弊館二十有余年の經驗技術と懸命の努力により在伯同胞の事業狀態を細大もれなく最も鮮明優美に撮影した驚異的實寫大寫眞帖たる事は既にモストラが証明して居ます

右寫眞帖發行に就て

今や日伯を繼ぐ邦人の往來は日と共に近來非常に頻繁になりましたが御歸國のお土產にブラジル照會の材料に家庭的記念等に致しますのに今日に至るも完全寫眞帖が生れなかつたのは誠に殘念でありましたと共に一般に完全なもの〻出現を要望して居りました扨て時たま見受けましても甚だ不備不完全で物足りない然も復寫づくめのエハガキ程度のもので實際滿足に價するものは見當らないのでした玆に於きまして弊館は五六年前から此處に着目して其作製を目的に然も職務柄熱心に其材料撮影に沒頭致して居りました、扨て此のアルバム作製上特に私を力付けましたのは去る昭和五年私が渡伯の際神戶移住教養所に於ける移民の生活狀態より彼の華々しい神戶棧橋出帆刹那の光景を始め香港より各寄港地の風景、風俗、船中の生活、赤道祭り等尙最後のサントス上陸まで約三十有餘種類を私が實寫の現板を保有して居ります我々同胞として先づ此の寫眞が第一の印象である此のアルバム作製上此の寫眞が一段と異彩を添ひましたのは勿論我々渡航上の順序として必要であり又本アルバムの骨子とならねばなりません然し此記念品を私が今に保有して居ればこそ本寫眞帖作製の動機となつたのであります皆樣此航海寫眞丈でも既に百釬以上の價値ある事を忘れてはなりません扨僅か一セツソンの寫眞帳とか或は寄せ集めの復寫眞帳なら躊躇なく出來ませうが苟も伯國全般に亘る邦人の活動實況を遺憾なく實寫して徹底したアルバムを作るのでしたから其苦心は並大抵の業ではなく又莫大の經費を要したのも當然であります、又本帳完成に事實上五ヶ年以上の日子を要した事も御想像に難くないと思ひます御承知の如く來る一九四〇年の母國東京に於きましては万國博覽會とオリンピツク大會がありますので是に大刺戟を與へられ母國訪問者のためには是非共間に合せたいと思ひまして急に步調を早めて本帳完成に館員一同全力を傾注した次第であります何卒同胞各位の絕大なる御後援御指導の程偏にお願ひ申上ます

次に甚だ恐縮乍ら自家廣告として左記發表致します私は母國高知縣で十八年間寫眞營業致して居りましたが既に皆樣御承知の通り渡伯後も今尙本業專門に働いて居りますそして私が在鄕當時大正十二年八月畏くも今上陛下未だ攝政宮殿下におはします時南海御行幸の御砌り縣の御下命により殿下の尺呎に拜參し御尊影拜寫の光榮に浴しましたが其節縣より獻上せしアルバム中土佐サンゴ採集及鰹釣りの實況寫眞は弊館が謹寫仰附けられたものであります次いで大正十四年の秋九條武子姬御來縣の節是亦上司の御命を受けお居間に伺向仕り御影姿謹寫の光榮ある歷史を有して居ります、然して今又海外万里のブラジルに在つて我出先高官各位、ブラ拓、海興各位の御支援御指導を賜り斯かる名譽ある大アルバムを完成するを得ました事は重ね〱身に餘る光榮と感泣致して居ります

本寫眞帖の內容と其順序

一、帝國大使館、領事館並に各位御肖像
二、伯國大統領、州統領、各官舍並御肖像
三、日伯各高官の題字
四、神戶移住教養所と出帆刹那の光景
五、航海中と各寄港地風景、風俗
六、サントス港上陸光景と聖市移民收容所各種
七、配耕フアゼンダ生活實況
八、獨立農となつて山伐、山燒の實況
九、入植當時と入植後の生活狀況
十、珈琲園生活と其事業順序
十一、棉作事業と　同
十二、米作事業と　同
十三、バタチンニヤ事業と　同
十四、野菜作りと　同
十五、バナナ作りと其活動順序
十六、果樹園と　同
十七、サントスに於ける漁業實況
十八、邦人商店發展振り
十九、伯國に於ける天長節當日
二十、天長節休日の餘興いろ〱
廿一、伯國カルナバルに於る邦人の余興いろ〱
廿二、サントス港各所風景
廿三、サンパウロ市各所風景
廿四、リオ市各所風景
廿五、邦人最大集團地バストス移住地の雄觀、風景
廿六、日本人と關係ある建築物いろ〱
廿七、ブラジルに於る珍しい動植物いろ〱
廿八、其他教材となり記念となる寫眞山の如し

前記の通り寫眞の種類實に三百五十枚の實寫大アルバムでありますが前述の如く其撮影費の尨大と其苦心等はさることながら假りに此寫眞全部を普通の燒增し代金と見積ましても代價一コント五百釬以上になります、然し名譽ある此アルバムを廣く皆樣にお頒け致したいと研究の結果左記の通り奉仕的價格を定めた次第であります振つて御申込下さいます樣お願致します

全部說明入

普通定價　壹冊　一五〇釬レース也
豫約割引特價　仝　一三〇釬レース也
（御一人二冊以上御注文は一冊に付五ミル引）
右豫約申込金　三〇釬レース也

扨弊館外來員見本携帶予約募集中ですが御遠方の方は直接御申込になれば予約手續き御取計ひ致します又御來館になればモストラを御覽に入れます次にアルバムの最後に特別欄を設け個人的御記念の爲めになさる家庭、農園、商店、工場、組合等の寫眞掲載を勸誘致して居りますが皆樣から非常に喜ばれて居ります。御希望の方は遠近を問はず至急御申込下さい部面に制限がありますのでお早く願ひます。寫眞撮影料は頂きません、尙詳細は御照會次第御返信致します

ソロカバナ線バストス市街地　郵函一一〇
發行所　竹下寫眞館
館主　竹下增次郎
M. TAKESHITA C. P. 110 E. F. S. BASTOS

若し事實とすれば絶對優勢とならむ

ゼツリオ氏の勢力

巷說が事實か聯邦政府首腦部方面内紛しマセド法相辭しその後任にフランシスコカムポス氏、ニユートン・カヴアルカンチ將軍執行委員會を退きピント將軍之を襲任?

政界の風說なるものは由來シヤボン玉の如くあてにならぬもので現れたかと思ふと消え消えたかと思ふと後から後から出て來て何人にも「端睨」を許さぬものではあるが、最近國都方面に於て突如左の如き衝動的風說が傳へられた　果してどこまでが眞實でどこまでが僞であるかは知る由もないが、事實とすれば近い中には表面化しようと言ふ可成りきわどい風說ではある

流言子の說くところによると戰時令布告後全く獨裁的にブラジルの政界に君臨してゐる戰時令執行委員會内に主義の上からか感情の衝突からかはハツキリ分らぬが、兎も角あ相當重大な内紛が持ちあがつたと言ふのである

由來戰時令執行委員會は海山千年の策士ではあるがどこまでもフワショ的であり得ないマセド・ソアレス法相と陸軍將官中の最右翼で何處までもフワショ的なニユートン・カヴアルカンチ將軍に配するに、ニユートン將軍程フワショ的で無くさりとてマセド氏と自由主義的であり得ない海軍のベエス・レメ將軍の三人の寄合世帶ではあるが事實上の采配は前二者が振つて居たものであるから執行委員會に「意見の衝突」位は余程前から豫期されて居たものである

即ちマセド氏が文官出の人物としてある程度まで自由主義的に行動せむとするに對し、ニユートン將軍が陸軍の硬派で統一黨方面の支持を受けて飽くまで右翼的に積極的に行動せんとし、此處に豫期以上に早い仲間割れが現れたのではないかと解される、兎も角も委員會内紛の結果マセド・ソアレス法相は辭職しその後任にはゼツリオ大統領のお覺え目出度い前文相でミナス興黨出身のフランシスコ・カムポス氏(教育總長)が擧げられニユートン・カヴアルカンチ將軍がペルナムブコに還されその後釜にはゼ大統領御附武官ピント將軍が補せられると言ふのである

若し右の假定が實現する時は果して何處までが事實となつて現はれるか疑問であるが、戰時令執行委員會が絶對的にゼツリオ大統領の〇〇となる運命を持つもので政界の眞のノヴイダーデはそれから後に於て現れるのではないかと言はれて居る　(リオ發八日)

"我々は棄民だ"と 蔬菜移民怒る

作物不出來・おまけにマレツタ

無關心の總領事館

移民制限以來聖州に於ける邦人移民集團を避けるべく政府及び民間拓植關係筋では種々畫策した結果現在南大河、パラナ、ペルナンブコ、パライバ、バイヤ等々に移民分散主義を實行しつゝあるが、右の中、昨年總領事館斡旋でバイヤ州に移住した邦人五家族の蔬菜移民が目下「バイヤなど居れた處ちやない」と右五家族は各自聖州へ引上げ策を講じてゐると云ふ、彼らが何故斯の如き引上げ策を講じてゐるか、理由は左の如くである

(一) 移住當時の條件とは全々異なり、野菜の出來は惡るく少々出來ても暑氣の爲に枯死して終ふ

(二) 最初マレツタは全然無いと教へられたが、實際酷いマレツタがあり、非常に苦しめられてゐる

(三) アラードをかける爲に牛、馬一匹宛給與される筈だつたのが今日に至る迄約束履行してくれぬ

(四) 總領事館勸業部から農具類を送つてはくれたが使用に堪へぬ物を送つた

(五) 植民者側から仕事上に關し普導的依賴を何度もしたが一度も便りもせぬ

等々で、或る程度まで我慢して見たいとは思つてゐるが余りにも總領事館側の其后の植民に對する態度が無關心過ぎその爲一度で良いから出張して實際に調査方を依賴しても出張もして吳れぬし、我々は丸つきり移民では無く棄民だと言ふ氣持になつてくる……と云ふ点からバイヤを引き上げる氣持になつた樣である

郊外をうろつく 邦人詐欺師

彼の巧言に掛るな

前月末郊外ソロカバナ線バルエリー邦人植民地在の久保勛吾氏宅を三十四、五歲位の一邦人が訪ね、同縣の貴殿を慕つて參りましたが是非カマラーダに傭つて頂き度い、實は家内はマレツタの上、子供が二人居るが食ふに困つてゐるからと云ふので久保氏は心良く一泊させたが、その翌日久保氏宅を去る間際になつて此處に五百釬あるが汽車賃支拂に小錢がないと困るし取り替へて頂き、若しも無ければ移轉の時返却致しますからと二十餘釬を立替へて貰つたが、その歸り途、今度は程近くの邦人學校教師を尋ね、私は久保の妻のクニャードで子供が色々御世話になつて居ります今度移轉して來ますが宜敷、貴方への御土產も久保宅に置いてゐますから後程御受け取り下さいと言葉巧みに話し掛けた後に近日中に引越して來ますが一寸汽車賃不足故に少々拜借願ひ度いと又若干の金を借して貰つたが、後で先生は久保氏に話した處クニャードでも無ければ何にも無く最初からの詐欺手段だつた事が判明し今更乍ら倦きれてゐる

矢崎主事 移任地へ出張

ブラ拓主事矢崎節夫氏は本日午前十一時四十分聖市發でチエテ、アリアンサ兩移住地の實情調査へ出張、來月二日歸聖の予定である

市毛總領事 本日乘船

一路平安を祈る

"皆さんに宜敷"と

既報の如く市毛總領事及御家族は本日午后一時半ルス驛發のコメツタでサントスに向ひ仝日夕刻サントス出帆の米船ウエスタン・プリンス號にて紐育經由で一路歸國の途に就かれるが昨日往訪の記者に"在留民諸君に何卒宜敷"と語つて居られた　一路平安を祈る

モザイク

何處へ行くにも自動車許りであつた歸朝する市毛總領事、過日どうしたハズミであつたか電車に乘つたが、電車賃二百レースとは三ツ子でも知つてゐる筈だのに市毛さん御存知なかつたと見え、隣席の某君を捉まへて「君ボンデ賃は三百レースだつたね」

▲

バウル市銃後獻金婦人會から聖市の同本部へ二コントス五百ミル不取敢届いた

▲

各地實行婦人委員方の張切つた汗ダク〱の活動と在伯日本女性方の傳統的報國の母性愛が結晶し、昨八日迄に既に廿五コントスを突破して居る由

▲

テナー藤原義江氏歡迎を球でなす老童軍對記者團、ソルテイロ軍對カザード軍の去る七日の野球試合は雨天の爲止むなく中止となりテナーがリオから歸聖する本月下旬まで延期された　老童軍はそれまでに大いに腕を磨くべく練習する事を申し合せた

▲

去る六日午后七時から學士連は法學士市毛總領事の歸朝送別會を常盤ホテルで盛大に催した

▲

サント・アナスタシオ驛梅辯植民地女子青年會拔として八十四名分三百八十三釬也を母國銃後慰問へ獻金した

▲

聖市サンターナ街に住んでゐる濱本トミヱと云ふ娘さん、聖市の家庭奉公はお嫌ひだと云ふ譯で伊太利大使館書記生山下利三郎氏宅へ奉公する可く來る十六日の船で伊太利へ出かける

四十五$稅即ち十五志稅とは何か

その用途如何

聯邦政府が未曾有の大英斷を以て斷行する事となつた新珈琲政策の結果四五釬稅即十五志稅が三分の一乃至五分の一に減額されると言ふ噂が傳つて居るが一体四五釬稅とは何か

四五釬稅とは聯邦珈琲院が全國から海外に輸出する珈琲一俵に就いて徵收する輸出稅でその海外に高價なる事は他國との競爭を困難ならしめブラジル珈琲の輸出が年毎に減少する最大原因の一つとなつたものである

しからば政府はこの輸出稅からあがる金を何に使用したかと言ふとそれは次の三つの用途に振り向けられて來た

一、四十五釬の三分の一である十五釬は珈琲院の維持費

二、同じく三分の一の十五釬は聖州が締結して居る二千万磅の珈琲借款の支拂

三、最后の十五釬は輸出高に應じ各州へ分配される、これは聖州借款支拂義務を負はされた代償としてである

今これを更に例をあげて說明するとブラジルの本年度輸出珈琲が千三百万袋だと假定すると各袋四五釬の輸出稅は五十五万五千コントスとなる、從つてこの中

一、十八万五千コントスが珈琲局の維持費即内外市場の相場維持、剩餘珈琲の買上(燒棄に宛てる)等々に使用される

二、十八万五千コントスは大部分は年額百万磅の珈琲借款の元利支拂に充てらる

三、十八万五千コントスはミナス、リオ、エ・サント、バイア、パラナー、ペルナムブコ、ゴヤスの各州へ割宛てられるが、今年度のミナスの割當は四万五千コントス、エスピリツト・サントが一万八千コントスであつた

政府の新輸出政策ではこれを十釬乃至十五釬に大減額しそれによつて伯產珈琲の相場を引き下げ他國品と大競爭をやらうと言ふので、これは言ふまでもなく他の競爭國との生產制限、市場均分等の協調が成功しなかつたためであるが政府の見込みは假りに前記の樣に輸出稅を減額しても珈琲の輸出が增へるから財源はさまで變動する樣な事はなく、まだ輸出干捗を行はぬとすれば珈琲院の必要は以前程で無くなるから之を極小規模にすればいゝと見て居るので珈琲院の大改造は必然的と見られて居る

在支皇軍へ 冷凍肉を送る

亞國の親日家が

亞國のセイアイ冷凍肉會社は永年の間引續いて日本に冷凍肉を輸出してゐるが今度の日支事變に際し聊か第一線の皇軍を慰問する目的で、約廿噸の冷凍肉の寄贈方を申し出たが大阪商船では、これが運賃約二千六百餘円を奮發して無料とし、來月十日頃日本向出帆の北陸丸に積込む筈である　因にこの冷凍肉會社の總支配人は本年始め日本を訪問、よく日本を理解せる親日家であると

大阪商船

定期、臨時船の入港變更さる

經濟使節團交換以來、日伯兩國貿易は著しき發展を來し從つて大阪商船の臨時船增加、山下、川崎兩汽船の南米航路の乘出しとなつたが、大阪商船會社定期及臨時船のリオ、サントス入港予定が左の如く變更された

▲スマトラ丸(南阿經由)　神戶發九月廿六日、リオ着十一月十八日、サントス着同廿日

▲らぷらた丸　サントス發十二月廿四日リオ・グランデ着、同月廿六日

▲ぶえのす丸　サントス發一九三八年一月十五日、リオ・グランデ着同年同月十八日

▲アトランチク丸(南阿經由)　神戶發十月十九日、リオ着十二月十三日、サントス着十二月十六日

▲箱根山丸　神戶發十一月十八日、横濱發十一月廿三日、パナマ經由でリオ着一九三八年一月六日、サントス着一月八日

茶

CHA ORIENTE
PRETO

Yoshii Irmão
C. P. 1257
S. Paulo

婦人團の 藤原氏歡迎 お茶の會

明十日午后一時半から在聖邦人婦人團ではマツピン四階でテナー藤原義江氏の歡迎お茶の會を催す、會費五釬

コーヒー

現物相場　平靜

サントス四級(モーレ)　十キロ

リオ四級　十キロ

ビツトリヤ七級　仝

聖市圍碁會館

初心者にも懇切叮寧に教授

二段　森島一郎

コンデサルゼーダス街四七番

棉種子消毒藥

バイエル製

ウスプルン

◉使用法說明書送呈
御照會ハ下記又ハ最寄代理人へ願ヒマス

サンパウロ市

カーザ東山

Caixa Postal, 528 São Paulo

ARMAZEM KAIKO LTDA.

Caixa Postal, 1602　São Paulo

新時代に飛躍する

定評ある
リオグランデ
骨粉
が大量入荷しました
早速御下命下さい
(御申込次第カタログ呈上)

アルマゼン海興肥料部
聖市アニヤンガバウー街九二九一五
電話　二一五四〇三

アルマゼン海興

◈御申越次第カタログ呈上

旅館開店御披露

謹呈　各位益々御淸祥之段大慶の至りに存じます
陳者私儀今般左記場所に於て旅館開業致しました就而淸潔、親切叮寧をモツトーとして現代的食事美味調理致し皆樣の御期待に副ふべく努力致しますから何卒寛大なる御厚情と御引立を給り度く當市御出頭の節は是非御來館遊ばされん事を御待ち致します
玆に開業するに望みまして重ね〱各位の御指導御鞭撻の程伏して奉願上げます
敬白
追而　時間外民衆簡易食堂も設置致します

種目
うどん　天ぷら　そば
支那そば　親子丼
ビール正宗　サイダー
其他いろ〱

ビリグヰ市ルアルヰバルボーザ一八〇
(カーザアネメールの下)

館主　我那覇生良

我那覇旅館

各位

日の丸印
完全棉
プランタ機

子守さん

十三四才の方一人お雇ひたし

聖報社内　山下

月掛獻金 出征軍人慰問團

趣意書

今回ノ日支事變ハ段々擴大シテ今後何時マデ繼續スルカ判リマセン。我ガ忠勇ナル將士ガ嚴寒酷暑、瘴癘ノ地ニ轉戰奮鬪シテ居ルノハ誠ニ感激ノ至リニ堪ヘマセン

是等ノ將士ノ勞ヲ犒ラウ爲メニハ母國ハ元ヨリ世界各地ノ同胞ニヨリ色々ノ會ガ出來テ居リマスガ此ノ種ノ會ハ事件ノ繼續スル限リ最初ヨリ終リマデ同一ノ熱誠ヲ以テ慰問ノ實ヲ現ハスコトガ必要デアルト痛切ニ感ズルノデアリマス就テハ此趣旨ニ於テ出征軍人慰問團ヲ設立シテ別項記載ノ實行方法デ實現シタイト思ヒマス在留同胞各位奮ツテ御贊同團員ニ御加入アランコトヲ祈リマス

規定

一、團員甲ハ一口五釬レースヲ毎月醵金シ同一人ニテ一口以上ヲ醵出スルコトヲ得

一、團員乙ハ一口二釬レースヲ毎月醵金シ同一人ニテ一口以上ヲ醵出スルコトヲ得

一、醵金ハ便宜上數ケ月分ヲ纏メテ前納スル事ヲ得

一、慰問團本部ヲ臨時聖市日本人會内ニ置ク本部ノ費用ハ發起人ニ於テ負擔ス

一、聖市及各地ニ世話人ヲ設ケテ集金ヲ行フ

一、醵金一定額ニ達シタル時ハ之レヲ總領事館經由母國ニ送金シ日支事變繼續中ハ絶ヘズ是レガ實現ヲ期ス

出征軍人慰問團

發起人(順序不同)

古谷重綱　宮坂國人
宮腰千葉太　多羅間鐵輔
菅山鷲造　高岡專太郎
杉本芳之助　明穗梅吉
石原桂造　渡邊儀平

常任幹事兼會計　菅山鷲造　杉本芳之助

出征軍人慰問團本部

サンパウロ日本人會内
郵函　聖市三一二三

長男萬里男儀永々病氣の所自宅療養中藥石効なく遂に十一月三日午前五時死亡ゴヤンベー墓地に埋葬仕り候間此の段辱知諸賢に謹告仕り候

父　羽髙權藏
母　仝　千代子
友人總代
チピリサ　松谷正治
ゴヤンベ町　大西龜吉
上塚第二中央植民會長　林田七平
ボンダーデ植民會長　末吉宗平

母キミヱ儀豫て病氣療養中之處藥石無効拾月廿九日遂に逝去翌卅日ボンペイア墓地に埋葬仕候間此の段謹告仕候

追而送葬の際遠路御見送被下且つ過分なる御香奠を賜り有難く厚く御禮申上候

十一月四日

長男　鈴木重雄
妻　かいゑ
次男　鈴木久夫
妻　きん子
三男　鈴木末夫
妻　年子
四男　鈴木ト一
長女　鈴木道子
次女　鈴木照代
孫　一郎
同　喜美代
同　忠生
同　晃
親戚
竹原利一
妻　里野
岡　虎之助
妻　久代
中谷順洪
森　松三郎
友人總代
田中要
泉善一
澤尾磯七
在耕者一同

文藝

△歌への道

若山喜志子先生

雨けむる山のみ寺の晝たけて
　訪ふ人あらぬ木蓮の花

陽の中に草の架とぶ幽けさや
　うつそ身我は人の戀しも

茂木村の磯山なだり枇杷うれ
　てすでに夏めく家居あつしも

右の三首は皆同一作者の詠まれたもので皆樣もお讀みになつてお解りのやうに非常に調子のよい巧みな歌であります

併しもう一歩立ち入つてこの歌を味つてよみうとするゝその調子のよさを裏づけてくれる内容そのものが空虚とまではゆかないにしても、直接反響してくる味に乏しい憾みが多分にあるのであります

１雨けむる山のみ寺の晝たけて訪ふ人あらぬ木蓮の花

のお歌の「訪ふ人あらぬ木蓮の花」といふのは作者はどう云ふ意味に扱はれたのでせうか雨の降り煙る山寺の晝が闌けて、それを訪ふ人もないのに木蓮の花ばかり咲いてゐる―その靜かな情景に心惹かれて詠まれたのでありませうか。さう云ふやうにも受け取れますが言葉の運び方がひどく上辷りしてゐて作者のそうした心持が生きて響かぬ憾みがあり惜しいことにおもはれます。この場合晝闌けてなどは上の「雨けむる――」に對して不適當ではないでせうか併しそれは強ひて許すとしても、下の句を口語にすれば「訪ねる人のない木蓮」となる。この表現には確かに言葉の説明が不足してをりませう此處は次ぎの如く「訪ふ人もなきに木蓮の花」とすればはつきりとした一首になり、作者の云はうとした氣持も生きて來るのではないかと思ひます。ほんの僅かな不注意の爲にこの歌などは非常に損をしてゐるゝ思はれます

２陽の中に草の架とぶ幽けさやうつそみ我は人の戀しも

のお歌「うつそ身我は人の戀しも」には、ともすると淺薄とも云はれ易い言葉の氣取りがあつて歌の品をおとしてゐます。さう云ふ意味でこの一首は初句からの詠み出しが何となく眞實味が乏しい。形はとにかく美くしくまとまつてはゐるが、右に云ふやうに作者の眞實心とは可なり距りののある表現になつてゐるのを惜しみたい

「陽の中に草の架とぶ幽けさや」などは或る型に因はれて動きのとれぬ貧弱な表現です

それから「草の架」はこの場合片言でせう「穂架」とは云へますが「草のわた」は無理な使ひ方でもあります。この一首等、太陽の照つてゐる中で何かの草の穂わたが幽かにとんでゐるのを眺めてゐた作者の人戀しくなつた氣持等實に自然で纖細で好感の持てる取材を扱つてあるのに、それを表現する場合もう一息の努力を惜しんだ爲に作者の眞實心とは緣遠い公式的な歌言葉だけ目立つ作になり終つたのでした

３茂木村の磯山なだり枇杷うれて既に夏めく家居あつしも

のお歌にも前二首同樣の批評をするより仕方ない「磯山なだり」だとか「すでに夏めく」とかいふ風な、誰でもが一つの合言葉のやうに安易に間に合せてゐる平凡な歌言葉をそのまゝ何の反省もなく借りて間に合せたと云ふ缺点がこの一首には殊に多かつたやうであります

この作者等は殊に長い年月を作歌に親しんで來てゐる方でせう。それだけ巧みな点では人後におちない手腕を有つてをられます、こゝでもう一息大いに反省されたら容易に作者自身の身についた立派な歌が必ず出來ると思ひます

以上は若山喜志子先生の歌講の一部ですが、私共短歌をまがりなりにも愛し、その道に進まふとするものゝ爲に何と大きな注意がうながされてゐることでせう歌を作る態度について、私達はこゝでもはつきり敎へられます。以前に與謝野晶子先生のお話をのせましたが、よく照らし合せて、味はつていただきたいと思ひます

在伯日本婦人への一つの提案

春去り夏來たり……野山に草木の又も新しくなるとき、私達の心は小さな／＼遷り變りにも故國の自然を慕つて佗びしくもうづきます

なつかしい幾山河に別れ大洋を越えて來は來つれ想ひは離れゝば離れる程懷かしい故鄕に歸りゆくものを………

この時、私達の至寶！敬の的思慕の主たる祖國は日支事變に直面して朝野こぞつて實に一致協力して戰時體制の中に緊張しきつて生活し戰つて居る。若しも私共が祖國に止つ居てたなら私達はどんな生活をしてゐることでせう

私共の息子！又は夫！兄弟は雄々しくも戰線へと勇躍して行くことでせう。そして私共は婦人として出來る限りの緊張と工夫と赤誠をもつて銃後を守ることでせうに………それだのに私達は本當に遠く來りしものかな……このブラジルに………そして直接に私どもは何も御國につくすことが出來ないのです。今さらしみぐ／＼となげかひの想ひの心に滿つるを何としませう

故國には御國の爲に戰線へと家の働き人を送り、無力の婦人小供のみ殘つて、それでも生活の苦痛に堪えることだけでも御國の爲と頑張つて居る人達がどんなに澤山あることゝでせう

思へば私共異國に住み生活の安定を保證されてゐる婦人達は何をすべきでせう！　それこそはつきりと決まつて居ると思ひます

そうした出征軍人ののこされた家族に對して生活の不安をとりのぞいて上げ、戰線の兵士にも後顧の憂なきやうにして上げなければなりません

幸ひ聖市にも、銃後婦人會、水曜會等雄々しくも立働いて居て下さる婦人團體もあり、地方には又それ／＼婦人會、處女會等の數々の御働きも承り本當にたのもしくうれしく限りなく敬意を表し感謝して居ります。かうした折から、故國の愛國婦人會から次の樣なお便りが總領事宛にまいりました

拜啓前略

本會に於ては今次の支那事變に際し本會創立の趣旨に鑑み軍事後援特に最も重大なる軍人家族及び遺族並に傷痍軍人の生活扶助に全力を傾倒し目下之が資金造成に努力中に有之候處御承知の通り本事業は多額の資金を要する上目下の狀況に照し今後更に時局の擴大を豫想され從つて將來益々之が資金の膨大を免かれざる次第に御座候就ては誠に勝手なる御願にて重々恐縮に不堪候へ共今後貴地に於て祖國の急に應ずる資金寄附の議有之候場合は是非本會の軍人生活扶助事業に何分の御助勢相厚配方切に御願ひ申上候

尙既に御賢知の事と存候へ共今次事變に關する內地國民の熱烈なる支援協力は眞に涙ぐましきもの有之從つて銃後婦人としての本會の活動も期せずして一般國民の認識を新にし今や軍事扶助の重要なる役割を担當し三百万會員一致協力渾然たる結束の下に日夜銃後の務めに奮鬪いたし居候

就ては此際貴地在留邦人女子の方々にも是非愛國婦人會員として赤誠を銃後に捧ぐる同志を得度切望罷在候に付何分の御助力相賜り度特に奉希望候不取敢御禮旁々右御願迄如此御座候　敬具

追て陸海軍兩省への軍事獻金其の他に付ても便宜本會に於て御取次致居候間之亦御含置き被下度希上候

領事館では右の書面に對し大變贊意を表し、何か具體的な運動の起きるやうにも希望してゐらつしやるさうです

如何でせう!!　ブラジルに於ける色々の婦人團體もこの際本當に一致してこの御申出でに贊成しましては………

旣に聖市では水曜會や銃後婦人會等は仕事の性質上一つになつてやつて行くのではないかと思はれる萠も見えそめて來ました

祖國を思ふ唯一つの大きなる目的を以て在伯日本婦人一つとなつて第一歩を新らしく踏み出しませう

軍人生活扶助事業後援の爲に

★ ★ ☆ ☆

聖報歌壇

千　種

移り來て十二年目同航の一人の母のふと狂ひたり

評　友の母親ふと狂ひたりとなほして見ませう

谷　せい子

壞したる古家のマデラ擔ぐればふるびた匂ぶんと鼻つく

評　擔ぐれば……擔げばの意味でせうが無理してつかつてありますね

郡山あや子

ひたぶりに慕ふ心のつのりゆくすぎし夢にぞ何處か似し人

評　もつと生活を廣く深く見ませう、せまい叙情は詩情を枯らします

安部榮子

夜に入りて風おさまりぬ谷川の水車の音のしるく聞ゆも

うらゝけき春日ねもすを砂あそぶ幼なき子等の明るい橫顔

評　春日ねもすを……春日ひねもすとしをとつてしまつた方がいゝと思ふ

木下綠蔭

自分の姿が馬鹿に醜く感じられて小ひさくなつて歩くたまに出た町

自分のヒクツな心が不愉快になつて浩然と肩をはつたがやはり空嘘だ

一寸としたことが氣になり怒鳴りたくなる心消化器をこはして

隱岐田春陽

打ち續く林の遠の靜けさを我一人居て終日木伐る

評　靜けさを…靜けさにの方が靜けさの中に居る意味がはつきりしますね

かたくなの心は何時か過ぎにけり力の限り木を伐り居れば

氣やすさは山峽ひの水口づけに飲みて歸りぬ木伐り人かな

評　氣やすさよとして、木伐り人はもとして詠み直して見て下さい

光　枝

ただ一聲唯一聲を！子の墓前立ち去り難く涙湧き出づ

評　ただ一聲唯一聲欲し！として見ました

我が命早々終へよ汝があとを追ひ行て抱かんと母は思ふに

我が移民史のその一頁に涙もて記されてある吾子の墓所

別府森水

はるかなるおもひ出思へと云ふが如空の白雲悠々と行く

若ミリヨのみどりの中を行く人のシャツの眞白さ日に光り見ゆ

山の湖に眞青き波の打つか如若ミリヨ畑そよ風にゆるゝ

やはらかき朝の光りに露ひかる芝生に立ちて深く呼吸せり

夕陽あかきはるか野を行く銀バスの屋根はきらゝとゆれて光れり

日曜も休まずはだしで洗濯に勢出す妻の汗ふきてやりぬ

富士曉風

急ぎつゝミリヨのコーバ堀り終へぬ谷をへだてゝ雨來つつあり

風つよみ家畜等しばしおづるらし子を呼ぶ女の聲のみ高し

家ぬちに漏り來る雨を掌にうけて代る／＼に兒等樂しぬる

評　兒等樂しぬる、無理な使ひ方ですね、兒等の樂しむとしませう

樂しみに蒔きたるミ・リヨの棄の色の清しき畑を今朝も見て來つ

棉種の質惡しといふイタリアーノはまきつぎしつゝ種子を示せり

宵　星

そよ風にマモンの葉ゆれて宵月の見えつかくれつ野天風呂哉

密林は霞に眠りアラポンがひねもす啼きてよき日和哉

雷聞え黑雲浮きぬその雲の陽をおほひまの暑さ一時

夕燒に一きは明き井戸端で明日畑へ持つ桴に水入る

何んとなく物憂く淋し雨の晝土間に火を焚きさつま芋燒く

志津野花惠

木の芽萠え明るくなりし山々の伸びしかすらに紅き花咲く

火をいれて幾日も經ぬに燒山の早くも芽ぶきぬ草の芽木の芽

とらへ來てラッチンニヤに飼へる小さき魚つぎ／＼と死せるを子等は見守る

評　もう少し子供の持つその時の感情をあらはしたい

白き腹見せて浮べる小さき魚子等は指もて動かさむとす

葉松雅雄

大陽がもう入るか沈むかさ振りかえりつゝ鍬を引くかな

ガラホンを鍬の先にて破りたり陽炎燃ゆるもの憂き畑で

この春は蕨も喰へずよく生えしモヂアナの畑の思ひ出される

末妹の通い始めし學校は日本人は三人とかや

泉湧き流れてよどむ一所芹の花咲き蝶來て休む

日記しるすことも忘れて一週間思ひ出すにつゞる雨の日

評　忘れてと云ふと經しと云ふ詞が欲しいですね、この場合忘れしとした方がよいと思ふ

芽立ちたる棉の不揃ひかこちつゝ追蒔きをする春の雨かな

蟻穴を掘りさげゆかば去年の日の藥品の跡の出で來るぞなつかし

評　堀り下げゆかばを口語にしますと「堀り下げて行つたならば」と云ふ假定の意味になり此處の意味には當てはまらないと思ふ「堀り下げ行けば」となるべきでせう、いで來るぞなつかし……もつと深く心境を出す工夫が欲しい

大根の花薄紫にほのゆれる黃昏時をがま啼きゐでぬ

ほい／＼とがま啼き始めぬ暑き日の紅き太陽靜かに沈む

ミイリヨの芽立ちをちよい／＼引き抜きて實をついばめりパッサプレット

目標の棒の先なる白き布かすかにゆれり棉を蒔く畑

椰子の花しきりに散りぬ畑靜寂棉を蒔きつゝ汗をぬぐえり

屋根をもり雨雫一つ肩に落つ靜かな雨の夜の風呂はよし

春雨に日は暮れにけり眞向ひし時計の磐の白々しかも

ページ繰ればつぶれし虫の出で來たり煙草へ火をば點してみつむ

金子秀雄

プレージョの眞綠の中に薄白く咲いてる花を見に下りて行く

故鄕のくわいの花をしのばせてプレージョに咲く白いこの花

プレージョの光る綠よみどりからあゝ飛び立つた黑鳥一つ

穴を掘ればエンシャーダの刄にカツチンと固い音して出たやしの實よ

あの人の棉の芽生えも惡るかつた‖自分の眼で見てなぐさんで來る

評　本當にさうした氣持ですね

初めての歩合作りの三アルケール棉の芽生えの悲しいあそこゝ

評　あそこゝ……あちこちの方がよろしいでせう

蟻と俺の歌

やわらかな棉の芽生えよチラチラと蟻が出て來て俺を泣かせる

殺しても殺しても又何處からかあざけるように蟻が出て來る

何をしても他人より下手なこの俺のこれも一つか……蟻は死なない

この蟻の命をかけてのこの仕事……小雨降る日を棉の芽きざむ

蟻と俺どちらが勝つか最後まで鬪ふのだとある日の言葉

赤蟻に切られた跡は雨待つてまた種を蒔く俺は棉作り

評　仕事に歌に健鬪を祈る

Noticias de S.Paulo
(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)
DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCRO KOWYAMA
PROPRIETARIO
Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
Rua Assembléa No. 16
SÃO PAULO – BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno ‐ ‐ ‐ ‐ ‐ 30$000
Semestre ‐ ‐ ‐ 15$000
Numero do dia ‐ ‐ $500
Exterior, anno ‐ ‐ 60$000

福山旅館
館主 小川武夫
ノロエステ線リンス市 郵函二〇三

パストス
中央旅館
館主 後常孝

兩替
阪上健吉
聖市コンセレイロ
フルタード街一八八番
郵函 二一七六番

製絲工場
絹織物工場 指定
大阪屋旅館
バストス市街地

ホテル
エスタソン
マリリア驛前 郵函一一二
電話十八番
寺尾啓三

Hiroshi S Passos
DENTISTA
齒科醫
齋藤
カフエーランヂャ寺院前

男子で女子でも寫眞上手になりたい人は何處までも責任を以て教へる本校で三ケ月學べば一躍スバラシイ寫眞家となつて活躍出來ます
規則書進呈
ノロ線リンス驛郵函一八六
公認ブラジル寫眞學校
むいとぼん寫眞館
東京寫眞學校卒業 江口杜秀
池尻八洲男 藤井時男
林田忠次郎
リンス公園通り郵函一八六

ほねつぎ
柔道整復術
マリリア講武館主
柔道師範
芳田善作
マリリア市四月四日街五〇番 郵函百拾貳番

石材商
墓石、挽臼、記念碑、石像、石燈籠、其他美術彫刻、石材工事、出張工事の御用命にも應じます
內畠祥光
Caixa 1850 S. Paulo
工場 R. Estudantes, 427
自宅 Villa C. de Sarzedas 226 · Tel. 2-0860

病者の福音
鍼灸界の權威
鍼灸延天堂療院
元熊本縣鍼灸醫會評議員
元全縣御船中央鍼灸醫會幹事
田上源太郎
鍼灸醫 田上敎生
△病者よ來りて其眞價を知られよ
パウル市ルアルウビイス
アルダ三一二六

U. Ieiri
DENTISTA
Est. Cafeland
N. O. B.
齒科醫
家入卯平
カフエランヂャ町

親切ニ叮嚀
道案內
驛より右二筋目を下り四ツ辻を四ツ目右角四百廿米突、御食事は日本人向。御出市の節は是非御立寄の程を
療には定評ある當市專門醫の診療を御勸めします 眼病御治
カンピーナスコスタ、アギアール街四二二
御養生に御出での方の御泊料は特に勉強致します
★驛前へ御出迎ひして居ます 荒卷と御呼び下さい
荒卷寅吉
荒卷旅館

マリリヤで最も古くて信用ある
日本藥局
小出虎雄
マリリヤ市サンルイス街七四
電話一二七

日の丸
高等御旅館
和洋御料亭
數名の女給サービス
パウルー市

●親切本位 並ニ農産物仲買……
下田旅館
下田福松
ヴエラクルース町

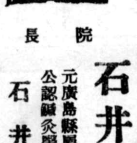
親切、叮嚀、顧客本位
比須旅館
吉村國惠
アラサツーバ市 郵函二〇八 電話二〇四

太陽
太陽ホテル
◇ソロカバナ驛左へ三百米◇
◇ルス驛裏通り右へ二百米◇
◇電車筋角より五軒目◇
看板は稅金の關係上取去つて御座いますが從前通り營業致して居ります
館主 黑岩シエ
聖市ゼネラル、コウト・デ・マガリヤンエス街 六四番

Hotel Tukimiya
CAFELANDIA
御宿は二階建の美壯觀の
寢心地の良い
月見屋旅館
館主 安原善太
竹內商店前
産婆 安原ウメ
◎醫師の便あり
ノロエステ線カフエランヂャ町

CASA HIRATA
Caixa Postal,47-Promissão
皆様!!
御注意
信用程恐ろしきものは無い
賣買は現金に限る
平田商會
平田千嘉藏
プロミツソン町 電四一二

職人見習工募集
福田屋製菓工場
本店 パウリスタ線ドアルテーナ驛 福田鶴市
支店 ソロカバナ線パラグアスー驛 福田兼雄
分店 北パラナ州カンバラ驛 野口勝男



鍼灸界の最高峯
難病者來レ!
石井療院
院長 石井一
元廣島縣囑託
公認鍼灸醫師
▽治療科目△
療治科・鍼灸科
光線科・電療科
マツサージ科溫灸科
パウリスタ線 マリリヤ市キンゼ街四二
石井三郎
ノロエステ線リンス市

成功不成功或は病氣災難、家族運不運は統而姓名に依つて左右せらる
生命哲學運命鑑定
四柱推命學運命鑑定
人相に依る吉凶運勢鑑定
手相に依る吉凶運勢鑑定
年相場上下變動期鑑定
九星天盤に依る家相鑑定
東京哲理生命總本部特派
姓名哲學鑑定斯界ノ權威
宇木田晃生翁
自宅 聖市ドトールトウマスデリーマ七五ノ八
（姓名用家庭寶典）

安瀨
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL-300
ARAÇATUBA.N.O.B
本店 アラサツーバ市
▲事務所、精米所、珈琲倉庫
電話五四 郵函三〇〇
支店 アグアリンパ
內外雜貨、食料品、珈琲、フバ工場
支店 ヴアルパライゾ
精米所 郵函一
安瀨商會

SENOI & CIA.
本店 ノロエステ線 グワララペス
支店 サンパウロ市 パウラヅウザ街
4-2383 ··· Telephone ······ 1-2
1141 ······ CaixaPostal ······ 50
精米所、珈琲精撰工場、イタリヤノ・フランセイス銀行代理部
一般農産物取引、アングロ・メキシカン・ガゾリナ販賣
農産物賣買、農業用藥品販賣、リオグランデ米及農産物輸入販賣、農産物委託販賣
コニシメントに對し御融通致します
瀨ノ上商會